



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5949 URL <https://www.unipres.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)浦西 信哉
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)斉藤 直樹 (TEL) (045) 470-8631
四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	62,276	12.9	△1,169	—	68	—	△1,149	—
2022年3月期第1四半期	55,148	31.8	△3,288	—	△3,123	—	△3,606	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 8,244百万円 (379.1%) 2022年3月期第1四半期 1,720百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△25.67	—
2022年3月期第1四半期	△80.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	306,312	142,760	42.0
2022年3月期	302,585	135,875	40.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 128,652百万円 2022年3月期 122,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	138,000	15.6	△1,600	—	△1,700	—	△2,800	—	△62.69
通期	292,000	14.8	6,300	—	5,300	—	1,100	—	24.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	47,991,873株	2022年3月期	47,991,873株
2023年3月期1Q	3,438,208株	2022年3月期	3,020,693株
2023年3月期1Q	44,775,537株	2022年3月期1Q	44,971,366株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、半導体の世界的な供給不足による得意先の減産の影響は残っているものの、為替影響による増加があったことにより、売上高は622億円（前年同期比71億円増、12.9%増）となり、営業利益は11億円の損失（前年同期は32億円の損失）、経常利益は6千万円の利益（前年同期は31億円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億円の損失（前年同期は36億円の損失）となりました。

なお、今後の生産状況につきましては、半導体供給不足の影響が依然不透明な状況はあるものの、新車部品立上げとその量産効果が期待されており、当社グループの販売状況の更なる回復が見込まれております。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

売上高は179億円（前年同期比40億円増、29.4%増）となったものの、セグメント損益（営業損益）は新車部品立上げ準備費用等の負担があったこと等により22億円の損失（前年同期は20億円の損失）となりました。

② 米州

為替影響等はあったものの得意先の減産影響等により、売上高は169億円（前年同期比2億円減、1.2%減）となり、セグメント損益は合理化効果等により6億円の利益（前年同期は6億円の損失）となりました。

③ 欧州

得意先の減産影響はあったものの為替影響等により、売上高は77億円（前年同期比4百万円増、0.1%増）となり、セグメント損益は合理化効果等により2億円の損失（前年同期は6億円の損失）となりました。

④ アジア

為替影響等により、売上高は195億円（前年同期比32億円増、19.9%増）となり、セグメント損益は6億円の利益（同1億円増、20.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が72億円減少したものの、現金及び預金が42億円、棚卸資産が57億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ37億円増の3,063億円となりました。

負債につきましては、長短借入金が40億円増加したものの、支払手形及び買掛金が52億円、関係会社整理損失引当金が6億円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ31億円減の1,635億円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと等により利益剰余金が15億円減少したものの、為替換算調整勘定が80億円、非支配株主持分が10億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ68億円増の1,427億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.4ポイントプラスの42.0%となりました。

資金の状況につきましては、営業活動から得られるキャッシュ・フロー、資金調達手段、流動比率の水準に基づき、当社グループは、将来の債務履行のための手段を十分に確保しているものと考えております。

当社は、当第1四半期連結会計期間末現在、資金の流動性を確保するため、シンジケーション方式のコミットメントライン契約による銀行融資枠及び当座貸越契約による銀行融資枠を575億円設定しており、その未使用枠は295億円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移していることから、2022年5月12日に公表いたしました予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,798	35,048
受取手形及び売掛金	51,410	44,167
棚卸資産	28,463	34,205
その他	14,401	14,894
貸倒引当金	△0	△103
流動資産合計	125,073	128,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,559	42,169
機械装置及び運搬具（純額）	66,021	67,516
土地	7,391	7,479
建設仮勘定	22,555	18,424
その他（純額）	13,231	13,916
有形固定資産合計	149,759	149,506
無形固定資産	6,172	6,504
投資その他の資産		
投資有価証券	7,219	7,239
その他	14,365	14,855
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	21,579	22,089
固定資産合計	177,512	178,100
資産合計	302,585	306,312
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,344	34,121
電子記録債務	2,469	2,257
短期借入金	51,349	57,262
未払法人税等	903	427
賞与引当金	2,650	1,343
訴訟損失引当金	94	71
その他の引当金	78	26
その他	17,642	18,098
流動負債合計	114,533	113,609
固定負債		
長期借入金	34,524	32,683
関係会社整理損失引当金	1,569	920
その他の引当金	145	152
退職給付に係る負債	6,188	6,345
その他	9,749	9,840
固定負債合計	52,177	49,943
負債合計	166,710	163,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,168	10,168
資本剰余金	13,457	13,457
利益剰余金	108,380	106,780
自己株式	△5,023	△5,388
株主資本合計	126,983	125,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	978	778
為替換算調整勘定	△2,066	5,993
退職給付に係る調整累計額	△3,073	△3,137
その他の包括利益累計額合計	△4,161	3,633
非支配株主持分	13,052	14,107
純資産合計	135,875	142,760
負債純資産合計	302,585	306,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	55,148	62,276
売上原価	52,279	57,181
売上総利益	2,868	5,095
販売費及び一般管理費	6,156	6,264
営業損失(△)	△3,288	△1,169
営業外収益		
受取利息	116	275
受取配当金	8	69
為替差益	69	286
受取賃貸料	101	107
補助金収入	226	374
関係会社整理損失引当金戻入額	32	648
その他	69	33
営業外収益合計	623	1,795
営業外費用		
支払利息	198	297
貸与資産減価償却費	76	82
持分法による投資損失	133	126
その他	50	50
営業外費用合計	458	557
経常利益又は経常損失(△)	△3,123	68
特別利益		
固定資産売却益	13	20
特別利益合計	13	20
特別損失		
固定資産処分損	72	7
訴訟関連損失	—	11
特別損失合計	72	18
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,181	69
法人税等	134	850
四半期純損失(△)	△3,315	△780
非支配株主に帰属する四半期純利益	291	368
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,606	△1,149

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△3,315	△780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△204
為替換算調整勘定	5,430	9,063
退職給付に係る調整額	△351	△63
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	229
その他の包括利益合計	5,036	9,025
四半期包括利益	1,720	8,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,047	6,645
非支配株主に係る四半期包括利益	673	1,599

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式417,400株(取得価額364百万円)を取得いたしました。この取得等により、当第1四半期連結会計期間末の自己株式は5,388百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(米国会計基準ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国連結子会社において、当第1四半期連結会計期間より、米国会計基準ASU第2016-02号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,860	17,184	7,786	16,316	55,148	—	55,148
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,800	12	0	290	10,105	△10,105	—
計	23,661	17,197	7,787	16,607	65,253	△10,105	55,148
セグメント利益又は損失 (△)	△2,064	△601	△671	520	△2,816	△472	△3,288

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△472百万円は、のれんの償却額△32百万円及びセグメント間取引消去△439百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,934	16,983	7,790	19,568	62,276	—	62,276
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,818	2	0	167	1,988	△1,988	—
計	19,752	16,985	7,790	19,736	64,265	△1,988	62,276
セグメント利益又は損失 (△)	△2,278	651	△299	628	△1,298	128	△1,169

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額128百万円は、のれんの償却額△33百万円及びセグメント間取引消去161百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。